

講習の名称：数学的に考える資質・能力を育成する授業づくりについて考える
担当講師：小泉 健輔（教育学部講師）
講習開講日：令和2年8月20日（木）
時間数：6時間

主な受講対象者：小学校教諭・中学校数学科教諭

キーワード：資質・能力の育成，数学的活動，授業づくり

講習の概要：

本講習では、児童生徒の数学的に考える資質・能力を育成するための授業づくりの視点について考察します。その際には、明日からすぐに使える方法について提示するというよりは、例えば、今日的な社会の要請をいかに解釈し、それをどのように算数・数学科の指導に生かすかや、数学的な見方・考え方を働かせる学びとは何なのか、といった、より大局的な観点による考察や、根源的な問いを立てた考察を重視します。

そのために、講義形式による情報提供と、それに対する討議を繰り返しながら、皆様とともに徐々に考えを深めていきたいと考えています。

算数・数学科の目標は、数学的に考える資質・能力を育成することにある。この目標を解釈し、授業づくりに反映させるためには、例えば「数学的」をどのように捉えるか、「数学的に考える」姿はどのように引き出されるか、資質・能力のどういった「育成」を目指すのか、といった問いに対する考察を深めることが重要である。本講座では、これらの問いに向き合いながら、小学校、中学校の具体例を中心にして考察を深めていく。

講習の展開：

- 第1時限 算数・数学科の目標の背景について
- 第2時限 教材研究を深める視点について
- 第3時限 多様な子供たちに対する学びを支援するための視点について
- 第4時限 数学的に考える資質・能力を育成するための授業づくりの視点について

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

本講習では、小学校、中学校の具体例を中心として考察を深めていきます。

授業の形式： 講義、演習、発表

履修認定試験： 論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

テキストは特にありません。当日資料を配布します。

小学校算数科、中学校数学科の学習指導要領解説については、適宜参照する予定ですので、冊子またはデータファイル等にてご準備いただくことをおすすめします。